令和８年度東海三県二市知事市長会議　議事録

日　時：2026 年 8 月 17 日（月）13：30～14：50
場　所：アイリス愛知　2 階　コスモス

１　開会

【事務局長（愛知県政策企画局長）】
ただいまから、令和８年度東海三県二市知事市長会議を開催いたします。
私は、本日、会議の進行を務めさせていただきます、愛知県政策企画局長の青山でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは、開会にあたりまして、開催県である愛知県の大村知事からご挨拶申し上げます。

２　開催県知事挨拶

【大村愛知県知事】
みなさん、こんにちは。愛知県知事の大村秀章です。それでは、開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
この東海三県二市知事市長会議は 5 者でやっておりますので、5 年に 1 回、順で回ってくるということでございますが、前回の愛知県開催は新型コロナウイルス感染症の影響により、WEB 開催でございましたので、こうして皆様をお迎えして開催するのは 10 年ぶりとなります。ようこそお越しくださいました。心から歓迎申し上げます。
また、午前中はジブリパーク「ジブリの大倉庫」をご案内させていただきました。暑い中、お忙しい中にも関わらず、ご参加いただき誠にありがとうございます。午後からは会議ということでよろしくお願いいたします。
初めに、7 月 28 日に発生しました令和８年熊本地震につきまして、お亡くなりになられた皆様に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。今回の地震の発生を受けまして、愛知県では、対口支援として県職員を熊本県宇城市に派遣し、罹災証明受付業務や避難所運営業務の支援を行うとともに、トイレトレーラーを八代市内の避難所に派遣しております。また、DMAT を 11 隊、DMAT コーディネーションチームをのべ 21 隊、DPAT を 1 隊派遣するとともに、県警察からも警ら業務、交通安全指導等で派遣をしているところでございます。いずれにしても、各県市さん同じだと思いますが、これから長期派遣の職員の要請があろうかと思います。しっかりと対応して、現地の復旧・復興を全力で応援していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは、会場前方の装花をご覧ください。これは 8 月の「あいちの花」である「ケイトウ」を使用しております。鶏のとさか、まさに鶏頭ということでございます。愛知県は、63 年連続で花きの産出額日本一です。愛知県の花きの産出額は 531 億円ありますが、第 2 位の千葉県が 200 億円ほどなので、3 倍近く差があります。花きの産出額日本一の地域ということで、このように花

を盛り上げさせていただいております。

午前中に行っていただきました、ジブリパーク「ジブリの大倉庫」について、もう 1 点申し上げますと、幼稚園・保育園や小学校、中学校、高校の子どもたちの遠足や修学旅行等の学校行事での利用を受け入れる「学校団体枠」を設けております。2 時間や 3 時間程度のコースなどがあり、それから価格も通常より少し抑えたものとなっておりますので、ご活用いただけたら有難いと思います。

さて、本日の協議事項でもあります、アジア・アジアパラ競技大会の開幕まで約 1 か月となりました。愛知・名古屋だけでなく、東海三県二市におきましても、岐阜県さんや浜松市さんには競技会場等でご協力いただいていることに心から感謝申し上げます。

本日は、各県市における機運醸成の取組や両大会を契機とした地域活性化の取組について協議を行います。両大会を成功に導くとともに、大会の開催を地域全体の成長・発展に着実につなげ、日本全体を元気にしていくためにも、引き続き、皆様の更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

さらに、本日は、「南海トラフ地震対策」や「林野火災」についても協議を行います。南海トラフ地震はいつ発生してもおかしくありません。また、林野火災については、愛知県においても、今年 3 月に豊橋市で発生しました。幸いにも人的・建物被害はありませんでしたが、いずれも日頃からの対策が極めて重要でありますので、皆様としっかり協議してまいりたいと思います。

最後に、7 月 24 日に、参議院本会議で夜遅くに成立いたしました副首都の法律でございます。法律が成立した 10 分後には、愛知県、名古屋市、県議会、市会の議長を交え、愛知・名古屋として副首都の指定を目指していくことを表明させていただきました。これから国から条件が示されると思いますので、それを踏まえて、愛知・名古屋の連携協約をつくり、申請は県が行い、指定も県全体となりますので、こういった準備を進めていければと思います。また、東海三県二市の皆様と一緒になって日本を支える一つの核として盛り上げていきたいと思いますし、ブランディング効果も大変大きいと思いますので、そういった面で取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援・ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、限られた時間ではありますが、本日の会議が実り多いものとなりますよう祈念いたしまして、私からの挨拶といたします。今日はよろしくお願いいたします。

３　座長選出

【事務局長（愛知県政策企画局長）】

ありがとうございました。

それでは、会議を進めてまいります。会議の座長につきましては、慣例により開催県市の首長が務めることとなっておりますので、愛知県の大村知事にお願いしたいと存じます。

座長札を座長のもとに置かせていただく間に、報道関係者の皆様へお願いを申し上げます。これ以降の撮影につきましては、報道席又は関係者席の後方からお願いいたします。

それでは、大村知事、どうぞよろしくお願いいたします。

４　議事

（１）協議・意見交換

【大村愛知県知事】

それでは、座長を務めさせていただきます。本日の会議は記者会見等の都合もございますので、14 時 50 分終了を予定しております。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日は、「①南海トラフ地震対策について」、「②林野火災について」、「③第 20 回アジア競技大会及び第 5 回アジアパラ競技大会開催に向けた取組について」の 3 つの議題について、協議・意見交換を行います。

なお、お時間が限られておりますので、提案趣旨説明は 4 分、各県市の取組の説明は 2 分 30 秒程度を目安として簡潔にお願いしたいと存じます。タイムキーパーが残り時間の札を掲げますので、時間配分の目安としていただきますようお願いいたします。

まずは、「①南海トラフ地震対策について」でございます。こちらは、岐阜県さんからのご提案でございますので、江崎知事から提案趣旨等についてご説明をお願いいたします。

【江崎岐阜県知事】

岐阜県知事の江崎でございます。

1 ページ目をご覧ください。まず、令和 8 年熊本地震におきまして、犠牲となられた皆様に対し謹んで哀悼の意を表しますとともに、いまだ復興に向けて頑張っている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて、資料をご覧いただきますと、先般、南海トラフ地震発生確率の見直しが行われまして、「80％程度」から「60～90％程度」に変更になりました。歴史的に見てもほぼ 100 年に 1 回起きているのがこの地域でありますが、今回、非常に大きな影響、特に一覧表をご覧いただきますと、海に面している三県の影響は非常に大きなものがあります。逆に岐阜県の場合は、海に面していないということもあり、まずは我々のやるべきことを明確にしようということで、岐阜県はこれから 2 つ取り組んでまいります。

まずは、自分たちのことは自分たちで守り切るということです。その上で、岐阜県は海の近くの方々を受け入れる体制をしっかり整えておきたいと思っております。そのために、1 ページ目の下段にありますように、まず、我々自身が防災訓練を徹底してやろうということ、特に私が知事になってから、「政策オリンピック」という形で、県民の皆様から提案をいただいて取組をする。特に、通り一遍の防災訓練ではいけないということで、住民みんなが参加できる、子どもや学生にも参加していただくということで、最終審査員を小学生にやってもらう。まさにお祭りのような取組です。しかも政策オリンピックですから、補助率 10 分の 10、全て県が費用を持つということで、今までやりたかったことをやってみようということが 1 つです。

もう一つは、やはりこういったときに非常に重要になります消防団。岐阜県には水防団もありますが、こういう方々がどうしても少なくなっていますので、しっかり集まっていくような仕組みづくりに取り組んでおります。そういうわけで、岐阜県が自分たちのことは自分たちで守り切ろうというのが 1 つです。

2ページ目をご覧ください。特に今日強調させていただきたいのが、やはりその地域だけというわけにはいきません。岐阜県は受け入れる県だということを謳っていても、なかなか実際には進みません。私は、東日本大震災のとき、岐阜県商工労働部長として福島県を中心に受け入れを行いましたが、多くの方が飛騨高山に行きました。なぜかと言うと知っているから。やはり人は知らない地域には避難できないんだという経験を踏まえ、2 つ目の政策オリンピックとしてすでに始めておりますが、「ふたつのふるさと（海・山の防災交流）事業」として、海沿いの地域の方と、山の地域を交流しようということを進めてまいりました。おかげさまで、昨年、笠松町と愛知県岡崎市さん、池田町と三重県尾鷲市さんで交流、さらには他の地域ですと七宗町と静岡県松崎町さん、それから福井市とも交流を行っております。我々の想定以上に効果がありまして、まずは小学校、中学校が提携して泊まりながら、泊っている中で防災訓練をし、一緒に段ボールベッドを作って泊まってみたり、炊き出しをしてみたり、それぞれ地元のいろんな歴史を学んだりという中で交流が始まりました。おかげさまで、今後は補助金がなくてもやるというところが出てきております。この事業はこれからも続けてまいります。

皆様にお願いしたいのは、小さな市町からの提案という形で進めましたが、なかなか提携先を見つけるのが難しいというお声がありました。ぜひ皆様にご協力いただいて、こうした取組を進めていただくことによって、南海トラフ地震の対応ができればと思いますので、よろしくお願いいたします。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

それでは、この件につきまして、皆様に順次ご発言いただきたいと存じます。三重県、名古屋市、浜松市、愛知県の順番でご発言をお願いいたします。それでは、三重県の一見知事からお願いいたします。

【一見三重県知事】

三重県知事の一見です。

今日は大村知事、愛知県の皆さんに、このような場をセットして、おもてなしをしていただいたことをまず冒頭、感謝申し上げたいと思います。

また、私からも、熊本地震、それからから先日の千葉県での豪雨でお亡くなりになられた方々、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

三重県の取組についてご紹介させていただきます。2ページ目をご覧ください。これは、熊本地震の対応でございますけれども、県職員を今日までに 62 人派遣しております。また、県職員以外の三重県の DMAT をはじめとした、人々は 65 人、熊本県で活躍しているということでありまして、中部圏や他の県市と同じように宇城市へカウンターパート支援をしております。右側の真ん中辺り、災害即応出動車の写真が出ておりますが、これは県職員 3 名が中で眠ることができます。今回はホテルをご用意していただいておりますけれども、ホテルがなくても対応できる車も一緒に持って行ったということでございます。今回は特に断水の対応が大変だったので、私の古巣になりますけれども、海上保安庁にも連絡をしました。巡視船を八代港、三角港などに着けていただいて、給水対応を行っていました。いずれにしましても、今後、総力を挙げて支援したいと思い

ます。

3ページをご覧ください。南海トラフ地震対策でございます。真ん中の左の方に書いてございますが、国は令和7年3月に被害想定を出しました。県では、平成26年に出した被害想定を今年の3月に見直しをしました。死者数としては、国が出したものより大きいですが、これは県の場合は積み上げでありますので、5万人という形になってございます。全壊・消失棟数も結構出るということでございます。

右側の三重県の地図を見ていただきますと、このぐらいの高さの津波が来るということで、大変なことになります。ただ、有難いことに、Sランクの活断層は三重県にはないということでございますので、南海トラフ地震にしっかり備えていくということが大事ということです。死者数5万人ですけれども、右下にありますように、早めに避難、地震発生後5分以内、夜だと10分以内に避難してもらい、早期避難率が20%だと、4万1,000人になりますし、それから100%早期避難できれば、9,400人に減っているということなので、とにかく避難を呼びかけることが重要だと思っています。

最後のページでございますけれども、南海トラフ地震に対応するために様々なことをやってきました。大きな地震が来ると4つ大きな支障が起きるということで、津波、火災、家屋倒壊、孤立地域、それぞれに関して津波避難タワーですとか、あるいはアプリなどもやってまいりました。火災に関しては、この後の林野火災のときに言いますけれども、空中消火が何よりも大事でございますので、こういったものを進めてきたところでございます。それから孤立集落、物理的な孤立はしょうがないんですけれども、情報孤立にならないのが大事ということで、令和7年の秋口以降、情報手段をそれぞれの孤立するであろう地域、三重県は202の地域が想定されていますが、情報通信手段としてスターリンクとか、衛星携帯、これを整備しまして、今はカバー率100%という形になっているところでございます。

これからも地震は出てきます、それから豪雨も出てきますから、それらの対応として日頃から事前防災をどうやるかというのは非常に重要かなと思っております。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、名古屋市の広沢市長、お願いいたします。

【広沢名古屋市長】

名古屋市における南海トラフ地震対策についてご説明します。2ページ目、南海トラフ地震等被害想定の再検討でございます。まず、本市の南海トラフ地震の被害想定については、公表から約10年が経過し、この間に各地で発生した大規模地震で新たな課題が顕在化するとともに、社会情勢が変化をしているところでございます。このような状況を踏まえまして、最新の知見に基づく新たな被害想定調査等を実施いたしました。

資料中ほど、ハザードマップの全戸配布でございます。市民一人ひとりに命を守るための避難行動について改めて確認していただくため、地震津波を含めた最新の全ハザードマップや防災情報などを一冊にまとめた冊子を新たに作成し、6月に全戸配布を行いました。また、災害への備えや災害時に役立つ多くのコンテンツを利用できる名古屋市防災アプリにおいてもハザードマップ

の確認が可能となっております。

資料右側、被災地域への支援、交流事業でございます。防災に関する交流の視点からは、東日本大震災で応援職員を 15 年派遣した陸前高田市との交流を今後も継続し、被災地支援を通じて得られた経験や災害の教訓を市民に伝え、陸前高田市への「丸ごと支援」の実績や友好関係を広く周知啓発する取組を進めてまいります。

3 ページ目左側、上下水道一体となった地震対策でございます。名古屋市では、大規模地震の発生に備え、重要度を勘案しつつ、事業費・事業量の平準化も図りながら計画的に上下水道施設の耐震化を進めております。令和 6 年能登半島地震におきましては、耐震化されていない上下水道施設に大きな被害が発生したことで復旧に長い期間を要し、改めて耐震化の重要性が認識されました。このため、浄水場や水処理センターなど、被災すると広範囲かつ長期的に影響を及ぼす恐れのある上下水道システムの急所となる施設の耐震化を進めるとともに、避難所などの重要施設に接続する上下水道管路の一体的な耐震化も進めてまいります。

右上の帰宅困難者対策の推進でございます。帰宅困難者対策につきましては、大規模な地震が発生した場合における滞留者等の安全の確保と都市機能の継続を図るため、官民連携による一体的・計画的な対策を実施しております。

その下、港防災センター移転改築でございます。地域防災力・防災意識の向上に向けて、港防災センターについて、総合的な防災啓発・人材育成の拠点とするため、小学校跡地への移転改築に向けた整備を進めております。全国から人が訪れる施設を目指し、様々な体験による学びや訓練･研修ができる機能を備えるとともに､平時と発災時で機能を切り替える｢防災フェーズフリー｣の考え方を採用し、発災時は避難所、地域防災拠点や市の現地本部として活用いたします。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、浜松市の山名副市長、お願いいたします。

【山名浜松市副市長】

本市では、資料にありますように南海トラフ地震対策といたしまして、これまで様々な取組を進めてまいりましたが、今回は今年度からの新たな取組をご説明いたします。

避難所は自宅に住むことができなくなった避難者の生活場所や避難者への物資配布場所などの重要な役割を担っております。特に、避難所開設の初期対応における迅速さと適切さが、その後の円滑な被災者支援につながるものと考えているところでございます。そのため、迅速かつ適切な避難所開設手段の確保として、今年度から指定避難所に「ファーストミッションボックス」を整備していくところでございます。

大規模災害時には、市民の皆さんはもちろんですけども、対応させていただく職員等も必ず避難所へ参集できるとは限りません。そこで、避難者の皆様が自ら避難所開設の初期対応をしていただくよう、まず、避難者にやっていただく役割を記載した指示書や、何をやっていただくかというアクションカード、筆記用具や防災用の LED ランタン、立て看板などの必要な資機材を 1 つのボックスに収納いたしまして、各防災倉庫に事前に用意することといたしました。市民の皆様に対して、自治会や自主防災隊、学校が参加する「地域防災連携連絡会」や避難所運営訓練の際

に周知することで、速やかな避難所開設ができるよう取組を開始したところでございます。

資料にはございませんけれども、先ほどお話しいただいております熊本地震等、夏場の災害を踏まえまして、暑さ対策も必要になってきているということを実感しておりまして、南海トラフ地震に対しまして、津波避難タワーを市内数か所用意しておりますが、日除け対策も浜松市としては始めていくところでございますし、生活用水の確保といったものもしっかりと考えていきたいと思います。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、愛知県における南海トラフ地震対策についてもご説明させていただきます。

資料1ページ、愛知県南海トラフ地震被害予測調査結果の概要を示しております。今回、12年ぶりに大規模な調査を実施しました。建物被害や人的被害をはじめ、大変大きな被害が想定されるということですが、一方で、全国最大のゼロメートル地帯を有する愛知県では、河川・海岸堤防や水門の整備などを進めてきた結果、浸水面積は前回から半分以下となり、浸水・津波による被害の減少が明らかとなったところでございます。引き続き、こうした対策を進めていって被害を小さくしていきたいと思います。

2ページです。「あいち防災アクションプラン」として対策をとりまとめさせていただきました。プランでは、7つの対策の柱、300のアクション項目を設定した上で、125の目標を伴う指標により進捗を管理しております。引き続き、しっかりと取り組んでまいります。

3ページをご覧ください。愛知県基幹的広域防災拠点の整備を進めております。県営名古屋空港の西側、豊山町役場の北に、全部で19ha、防災公園を備えた基幹的広域防災拠点の造成工事を進めております。ここには愛知県と名古屋市の消防学校を合体させ、共同設置することとしております。県と政令指定都市で共同設置するのは全国初の取組となります。2029年度のオープンを目指してしっかりと進めてまいります。

最後に、4ページをご覧ください。ゼロメートル地帯における広域的な防災活動拠点の整備を県直轄で4か所つくるということで進めておりまして、2か所が完成し、残る2か所は建設工事中、1か所は2026年度上半期、もう1か所は2027年度内の完成を目指して整備を進めてまいります。

引き続き、皆さんと連携して進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、この件については、以上といたします。追加の発言をご希望の方はいらっしゃいますでしょうか。それでは、一見知事、お願いします。

【一見三重県知事】

近隣の県、それから市が協力をするのが一番大事だと思っています。私どもは南海トラフ地震に向けた条例をこれから議論し、それに基づいた計画を作っていこうと思っております。その中で、実は皆さんにお願いしないといけないところ、大きいのは避難をした人たちの避難所での関連死を防ぐためにどうするかという視点があります。各市町で作ります避難所に対して、県が2分の1補助をするというのを令和7年度から三重県はやり始めているのですが、そうは言っても、例えば、県営住宅、市営住宅をお貸しいただけるのであれば、これはすぐには無理だと思います、3日、4日、一週間経ってからになると思いますが、そこに家族で避難したい、他県に行ってそこ

でゆっくり生活を送りたいという人が出てくる可能性があるので、このあたり、ご相談させていただけると有難いと思いますので、またよろしくお願いいたします。

【大村愛知県知事】

他にはよろしいでしょうか。それでは、南海トラフ地震対策について、ご発言をまとめさせていただきますと、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、各県市の取組や課題の共有を進めるとともに、今、一見知事からお話がありました件も含めて共有を図り、進めるとともに、発災時の避難・支援体制の強化を図るということで、各事務局等の方でまた意見交換をしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、本件につきましては、このように取り扱わせていただきますが、よろしいでしょうか。はい、それではそのように進めさせていただきます。

続きまして、「②林野火災について」でございます。こちらは、三重県からのご提案でございますので、一見知事から提案趣旨等のご説明をお願いいたします。

【一見三重県知事】

林野火災につきまして、三重県では、今年のゴールデンウィーク明けに非常に大きな火災が起きました。資料2ページをご覧ください。津市の山の方で起きておりまして、延焼範囲は約8ha、大きな火災でございました。近隣に人家も控えているところでございまして、延焼してしまうと大変だと言うことでございましたが、5月19日に覚知して対応を始めております。最終的には5月20日に鎮圧、5月22日に鎮火ということでございますけれども、これは名古屋市さん、それから滋賀県さんに大変ご協力をいただきました。ありがとうございます。名古屋市さんからはヘリを出していただきました。名古屋市さんのヘリには熱源調査の機械が付いておりました。目で見ただけでは、火が消えたかどうかが分からないんです。それを名古屋市さんのヘリについている熱源調査の機械で見ていただきました。非常に助かりました。この場をお借りして御礼申し上げたいと思います。今年になりましてから、東北地方でかなり大きな火災がありましたけれども、幸いなことに、皆様のご協力、それから何よりも自衛隊の協力によりまして、早期の鎮圧・鎮火に至っております。今回の気づきのところで、2ページの真ん中の下に記載しておりますが、平時からの自衛隊との協力関係が上手く機能したなということ、反省点としては、地震や豪雨のときには県から各市町に事前に指名をした人たちが改めての指示を受けなくてもリエゾンとして派遣されるという制度をとっているのですが、火災については対象ではなかったので、今後、見直しをして火災の場合でも対応しようと思っております。

3ページをご覧ください。右の真ん中を見ていただきますと、空中消火、ヘリから実施をしていただいておりますけども、チヌークという2軸のヘリ、写真左側に写っておりますけども、これは約5トンの水を一気に放出することができるというものです。バスタブが200Lですから25杯分の水を一気に落とせると、通常のヘリの場合ですとだいたいバスタブ4杯分くらいですので、この威力は相当なものでございます。左側を見ていただきますと、消防隊員が背嚢を背負って、ジェットシューターと言いますけど、水を持って入っていきますけれども、彼らも言っておりましたが、ヘリの威力はすごいということでございまして、右上にありますように、210tの水を散布することができたということで、鎮火に大きく役立ったということです。

4ページをご覧いただきますと、三重県では、日頃から自衛隊と年に1回、スリースターの人たち、陸・海・空に一堂に集まっていただき、会議をやっております。昨年度から、県警察本部長に加えまして、第四管区海上保安本部長及び県消防長会会長も参加をしまして、実働4部隊に一気に集まっていただいて、県と会議を始めております。今回も自衛隊にお願いしますと言ったところ、「分かりました、やりますよ。」と言ってすぐにやっていただいたのは、日頃からこういう関係ができているからかと思っておりますし、左下にございますように、私も自衛隊行事に積極的に出て行って話をさせていただいております。そういったこともあって、日頃から顔の見える関係があったことも大きいのではないかと考えているところです。また、右側にありますように、防災訓練も年に1回大がかりなものを自衛隊と一緒にやっております。この結果、大きな被害を出すことなく、鎮火できたのは有難いことでございました。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

それでは、この件につきまして、皆様に順次ご発言いただきたいと存じます。それでは、先ほどとは逆に、愛知県、浜松市、名古屋市、岐阜県の順番でご発言をお願いいたします。

それでは、まず、私の方から、愛知県における林野火災に関する取組について、申し上げたいと思います。資料1ページをご覧ください。まずは、地域防災計画の修正というところでございますが、愛知県では、大船渡市での林野火災を踏まえた国の防災基本計画の修正を受けまして、今年2月に愛知県地域防災計画を修正いたしました。具体的には、林野火災予防思想の普及啓発や林野火災に対する警戒強化、ヘリコプターによる空中消火の積極的な推進等について、計画に追記しております。

また、2021年度以降、毎年、陸上自衛隊や県内市町村・消防本部などの関係機関と連携し、大規模林野火災空中消火訓練を実施しておりまして、先ほど三重県さんからもお話しがありましたように、引き続き、自衛隊の大型ヘリコプターが参加する実働訓練を行うなど、関係機関の連携強化を図っているところでございます。

2ページをご覧ください。今年3月に豊橋市で発生した林野火災における消防機関等の対応でございます。3月14日発生ということで、地元の豊橋市が対応いたしましたが、3月14日から15日にかけて名古屋市消防ヘリや愛知県防災ヘリが空中消火活動を実施しました。県ではリエゾンとして県職員を派遣し、また、四県一市航空消防防災相互応援協定に基づき、三重県防災ヘリに空中消火を実施していただきました。こうした結果、翌15日に鎮圧、18日には鎮火ということでございました。焼損面積は約2.8haであったものの、幸いにも人的・建物被害は発生しませんでした。

引き続き、近隣県市との連携を強化し、林野火災対策のより一層の強化を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、浜松市の山名副市長、お願いいたします。

【山名浜松市副市長】

本市は森林面積が総面積の約66%を占め、林野火災についても令和7年度までの過去5年間で20件以上発生している状況でございますので、林野火災予防対策や発生時の対策は非常に重要で

あると考えております。

まず、林野火災予防対策については、林野火災注意報と林野火災警報を火災予防条例に定め、発令することで、市民の皆様の火の使用を制限し、林野火災予防の実効性を高めていくということでございます。注意報発令時には市民向けメールやLINEといったものを通じて情報発信を行いまして、注意喚起を積極的に行い、警報発令時にはそれに加え同報無線や消防車両での広報や巡回指導を行い、林野火災予防の徹底を図ります。

次に2ページをご覧ください。林野火災警防体制についてです。林野火災は気象条件や地形、飛び火の発生などにより、急激な延焼拡大に至る場合や、狭隘・急峻な林野内への進入など、放水活動が困難になる場合が多々ございます。そこで制度の見直しや新設をするとともに、林野内への送水や放水を可能にする資器材の整備を進めています。

また、消防ヘリコプターは地上部隊のアクセスが困難な場所にあっても状況確認が行え、延焼範囲を特定できます。それから、消防ヘリコプターによる大量放水は林野火災への空中消火の効果に対し高い評価を得ており、広範囲な消火活動により延焼を遅らせることや早期鎮火への効果が期待できるところでございます。これらの活動につきましは、地上部隊との連携が非常に重要です。グリッドマップを活用いたしまして、空中部隊と地上部隊の連携強化により、火災対応能力の向上を図るよう努めているところでございます。

また、本市を含む静岡県遠州地域、愛知県東三河地域、長野県南信州地域の三遠南信地域で広域連携を進めていますが、本市のヘリコプターを活用する応援協定を締結し、県域を越えた支援体制を確保しているところでございます。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、名古屋市の広沢市長、お願いいたします。

【広沢名古屋市長】

それでは、名古屋市の取組について、ご説明させていただきます。2ページをご覧ください。本市の現状としましては、市域東部の丘陵地帯の一部に山林が点在しておりまして、その多くは東山公園などの大規模な都市公園内に広がっております。本市での過去3年間の林野火災の発生状況としまして、令和5年及び6年に林野火災の発生はありませんでしたが、令和7年に4件の林野火災が発生しております。

次に火災予防の取組でございますが、林野火災の多くは人的要因によるため、いわゆる「たき火届」を受け付けた際に防火指導ちらしを活用し、火気取扱いに対する注意喚起を行っております。また、先ほど申し上げました東山公園など、山林を有する公園管理者等と連携を図るとともに、消防団と連携した定期的な防火広報や地域と連携した防火広報を実施することにより、林野火災の予防に努めております。

続きまして、3ページ目でございます。本市では、市域に占める山林の面積は大きくありませんが、林野火災への備えは重要なものと認識しております。備えのための主な訓練としまして、山林を有する地域では、林野火災特有の消火戦術やドローンを活用した点検、消防団との連携活動訓練を実施することで有事の際に備えております。

また、右側、航空機の活用でございますが、林野火災の発生時には、陸上からの消火活動に加え、航空機による上空からの情報収集や熱源の確認、消火バケットによる空中消火活動が有効でありまして、早期消火の重要な要素の一つであります。名古屋市消防航空隊は、愛知県から運航委託を受けている機体も含め、3 機体制で愛知県全域の安心安全を空から守っておりまして、近隣県にも協定等に基づき応援出動をしているところでございます。先ほど、一見知事からもご発言がありましたけれども、まさに、今年 5 月に三重県津市で発生した林野火災におきましては、四県一市航空消防防災相互応援協定に基づき出動いたしまして、消火活動などを行ったところでございます。

林野火災につきましては、小規模なうちに火災を封じ込めることが被害軽減につながることから、地上部隊と航空隊が連携し、早期消火に取り組んでおります。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、岐阜県の江崎知事、お願いいたします。

【江崎岐阜県知事】

岐阜県は、木の国、山の国と呼ばれるほど、81％が山でありますので、林野火災は非常に大きな課題なのですが、表をご覧いただきますと、平成 25 年には 49 件ありましたけども、おかげさまで年々減っておりまして、今年は半年間で 9 件でした。今年の 6 月に発生しました恵那市の火災では、地元消防団員、消防車両 17 台、県防災ヘリコプターによる散水で約 4 時間 10 分後に鎮火することができました。やはり初期対応、そして連携がいかに重要かということ、それを踏まえまして、いろんな備えをしっかりしておくということ、先ほど一見知事からありましたように、ヘリが非常に重要です。更に、様々なデータ、作業を行うための道路の情報、立体構造も含めて、効果的に進めていく必要があります。そして何と言っても近隣県市からの協力が極めて重要でありますので、引き続き、お願いしたいと思っております。

もう 1 点、もともと林野火災はあるのですが、大規模化が進んでいるとのことで、どうしても植栽された山が放置されている、そして、伐り捨て間伐によって「植え過ぎの伐らなさ過ぎ」の結果、山が薪だらけの状態になっているので、こうしたことも将来的に長期的な観点で解消していく必要があるだろうと。すなわち、今、誰が持ち主か分からない山の状態のところに、林野火災が起きると作業もできない。この間、全国知事会議でも提案させていただきましたけれども、所有が分からないところを解消することによって大規模な林道をつくる、これによって消火活動を効率的にできるし、そして、伐り捨て間伐ではなく、山で伐った木をちゃんと下ろすことによって山を緑に戻していくということ、足元に木がない状態にしておくことによって、防災を進めていく。ぜひ、協力してこうした取組を進めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。更にご発言がある方がいらっしゃいましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、この林野火災について、各県市からご発言いただきました。そ

れでは、林野火災による被害の軽減に向けまして、発生防止策や早期消火方法に関する情報共有を行うとともに、発災時の広域応援体制の強化を図るということで、とりまとめさせていただきますが、よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは、このようにとりまとめさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、最後に、「③第 20 回アジア競技大会及び第 5 回アジアパラ競技大会開催に向けた取組について」であります。こちらは、愛知県からの提案でございますので、私から提案趣旨等をご説明させていただきまして、その後、三重県、岐阜県、名古屋市、浜松市の順番でご発言をお願いしたいと思います。

まず、1 ページでございますが、今年 9 月から 10 月にかけまして、アジア・アジアパラ競技大会、愛知・名古屋大会を開催いたします。開催まで残り 1 か月でございまして、各県市における機運醸成の取組や両大会を契機とした地域活性化の取組を共有したいと考えまして、今回、協議話題として提案いたしました。

では、まず両大会の概要でございますが、アジア・アジアパラ競技大会は、アジア 45 の国と地域から約 15,000 人にお越しいただき、アジア競技大会では 43 競技、アジアパラ競技大会では 18 競技ということでございます。

次に 2 ページ、大会開催に向けた現在の状況でございます。昨年 7 月に「IG アリーナ」がグランドオープンし、今年 4 月にはメイン会場である「パロマ瑞穂スタジアム」の供用が開始されました。新設の大きなものはこの 2 つということで、あとは既存の施設の改修等で開催させていただきます。、

次に 3 ページ、愛知県、名古屋市以外の競技会場でございます。アジア競技大会では、ホッケー、サッカー、ローイングを岐阜県さんで、アーティスティックスイミングを浜松市さんで開催するほか、東京都さんでは競泳と馬術、大阪府さんでは女子サッカー、静岡県さんも女子サッカーと自転車競技と広域で開催いたします。それから、岐阜県さんでは台湾のレスリング、静岡県さんでは台湾、カタール、サウジアラビアの陸上と競泳の事前合宿を受け入れていただくなど、多くの自治体にご協力いただき、感謝いたします。

次に 4 ページ、聖火リレーでございます。アジア競技大会では 8 月 22 日から 9 月 18 日まで、アジアパラ競技大会では 10 月 6 日から 10 月 17 日まで、県内市町村と協力しながら聖火リレーに関する様々な取組を実施いたします。

次に 5 ページ、大会チケット、チームドローセレモニーです。6 月 30 日からチケットの一般向け販売を実施しております。7 月 23 日には組み合わせ抽選会を実施しました。

次に 6 ページ、両大会に対する国への支援要請でございます。全国知事会において、「アジア・アジアパラ競技大会推進本部」を設置いただきまして、明日、8 月 18 日に両大会の機運醸成やチケット販売促進、両大会を契機とした地域活性化の取組の後押しなどを国に要請させていただきます。

次に 7 ページ、大会開催に向けた機運醸成です。6 月 11 日にアジア競技大会 100 日前イベントを、7 月 11 日、12 日にアジアパラ競技大会 100 日前イベントを実施し、それぞれ聖火リレーのトーチやユニフォーム、入賞メダルのデザインを発表しました。本日、この会場にも同様のものをご用意しております。後ほど、ぜひお近くでご覧ください。また、7 月 10 日からは大会 PR のためのテレビ CM を放送しております。

次に8ページ、シティドレッシング、「ONE ASIA WORLD」でございます。デジタルサイネージで大会PR動画を放映しております。県内では、主要駅等でのシティドレッシングに加え、名鉄バス及び名古屋市営バスのラッピング等を実施しております。さらに、アジア競技大会期間中には、メダリストセレブレーションや文化交流、パブリックビューイング等を実施する「ONE ASIA WORLD」を名古屋市内で展開いたします。

次に9ページ、大会を契機とした地域活性化の取組です。国内外から多くの方が訪れるため、大会公式サイトで全国の観光情報を紹介しているほか、アジア地域の多様な文化や価値観を共有する文化プログラムを実施いたします。中部各県や県内空港からの就航先自治体と連携し、インフルエンサーを活用した広域周遊観光 PR やメディアに対して各地の観光情報の発信を実施しております。

最後に10ページ、大会開催の意義であります。両大会の開催はスポーツの振興にとどまらず、交流人口の拡大など、社会的、経済的な効果を創出するものです。両大会の開催により、日本全体で3兆6,831億円の経済効果が見込まれるなど、日本全体の成長に大きく貢献するものです。両大会の開催を一過性のものとせず、地域全体の成長・発展に着実に結び付けていくため、成功に導いていきたいと思いますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願いいたします。

それでは、この件につきまして、三重県の一見知事からご発言をお願いいたします。

【一見三重県知事】

2ページをご覧ください。8月12日、JOCがアジア競技大会の日本選手団の旗手として、三重県出身のレスリングの藤波選手を発表しました。三重県からは、2ページの左上にありますように17名の選手が内定しておりまして、選手の活躍を期待するところでございます。

2番目の項目としましては、大会開催の機運醸成ということで、三重県でもSNSあるいはポスター等を使いまして、アジア・アジアパラ競技大会のPRをしているところでございます。

3番目の項目としましては、先ほど、大村知事からもお話がありましたけれども、この機会に多くの人に三重県を訪れてもらいたいということでございまして、周遊、長期型の滞在を皆さんと連携しながらやっていきたいと思っておりますので、それを促進したいと思います。それから、海外にインフルエンサーによる情報発信もやってもらいたいということで、働きかけをしているところでございます。三重県の場合は愛知県の非常に近いところに桑名市や四日市市がございます。それ以外のまちもございますので、ホテル、宿泊地として活用していただければと考えているところでございます。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、岐阜県の江崎知事、お願いいたします。

【江崎岐阜県知事】

本県ではホッケー、サッカー、ローイングが行われる予定でございます。資料をご覧いただきますと、長良川競技場等、それぞれの競技会場において、着々と準備が進められております。ホッケーに関しては、「ホッケー男女U18アジアカップ」が行われまして、まさに運営可能ということ

で確認がとれたところでございます。

何と言っても 2 ページ目でございます。大会期間中には、アジア各国から選手やその家族、観戦者がたくさん来てくれるということで、盛り上げとおもてなしが大事かなと思っているところでございます。まずは、名古屋市のメイン会場で行われますステージイベント、ここで地域の魅力をしっかりと発信してまいりたいと思っております。県内の宿泊施設におきましては、県特産品ノベルティの配布、小中学生によるウエルカムメッセージボードの設置など、来県される選手団へのおもてなしを計画しております。さらには、やはり参加者を増やすということで、大会を間近で観戦できるよう県内在住の親子約 3,000 名に観戦チケットを配布するなど盛り上げていきたいと思っております。パラ競技についても、小学校の児童 240 名を大会に招待することで、パラスポーツへの理解を深めてもらうということも含めて、徹底的に大会の機運を盛り上げてまいりたいと思っております。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

続きまして、名古屋市の広沢市長、お願いいたします。

【広沢名古屋市長】

それでは、名古屋市の取組について、ご説明させていただきます。2 ページ目をご覧ください。大会後の活用も見据えた施設の整備でございます。アジア・アジアパラ競技大会の開催やその後の活用を見据え、本市のスポーツ振興の拠点としての価値を高めるとともに、市民の交流や憩いの場としての機能向上を図るため、瑞穂公園全体を整備いたしました。大会のメイン会場となる瑞穂公園陸上競技場では、スポーツによるにぎわいの創出を図るため、陸上競技やサッカープロリーグなど、様々な競技大会の開催に対応できる整備を行いました。併せて、スタジアムのコンコースと広場をつなぐ「8 の字ループ」については、イベントのない日にもランニングやウォーキングなどで誰でも利用できるよう整備し、大会後も市民の皆さまが気軽にスポーツを楽しみ、交流できる場として、公園全体の魅力をつなぐ回遊路にしてまいります。

続きまして、右側の当事者参画等によるバリアフリーの推進でございます。スタジアムには約 300 席の車いす席やバリアフリートイレを整備するとともに、会場最寄り駅のエレベーター設置やバリアフリー導線の確保を行い、誰もが安心して来場できる環境づくりを進めております。大会の開催効果を一過性のものとせず、多岐にわたるレガシー形成に取り組むほか、多様性を包摂し、誰もがより幸せを実感できる社会の実現に向けた取組を一層推進してまいります。

3 ページ目をご覧ください。シティドレッシングでございます。県市合同のシティドレッシングとして、主要駅やメイン会場周辺駅、オアシス 21 などの観光名所、市バス・名鉄バスへのラッピング等を行っています。また、地下鉄や SRT といった市所有車両へのラッピング、横断歩道橋・公園緑地や区役所といった市所有施設への横断幕やマスコットパネルの掲出なども行っております。続きまして、メディア・交通広告でございます。広告による発信も積極的に行いまして、メディア広告や交通広告などを行っております。続きまして、右側のイベント PR でございます。市内地域密着イベントへのブース出展や PR 展示、アスリートによる学校訪問、広報なごやにおける特集ページ掲載など、機運醸成につながる取組を継続して実施しております。

最後に、4ページでございますが、大会に合わせて、「名古屋城夜間ライトアップ・体験型コンテンツ」や「あいち・なごやアート＆ライツ」、また「あいち・なごやオープントップバスツアー」を実施し、大会期間中に国内外から訪れる観光客や大会関係者の方へ名古屋の魅力を発信し、地域のにぎわい創出につなげてまいりたいと考えております。

【大村愛知県知事】
ありがとうございました。
続きまして、浜松市の山名副市長、お願いいたします。

【山名浜松市副市長】
1ページ目ですが、浜松市ではアーティスティックスイミング競技が、9月26日から28日まで古橋廣之進記念浜松市総合水泳場「ToBiO」で開催されます。当会場で国際大会が開催されるのは今回が初めてとなりますので、市民をはじめ、大きな期待が寄せられているところでございます。
JR浜松駅、最寄駅のJR高塚駅の広告スペースや路線バス車内に設置されたサイネージにて大会に関する広告物を掲示し周知を図りまして、機運醸成を図っているところでございます。
続きまして、2ページをご覧ください。開催期間中は本市を訪れていただける皆様に、市の魅力を紹介するブース出展を行う予定でございます。展示ブースでは、PR動画の放映やパンフット等の配布を行うとともに、地域材であります天竜材を使用した木工品の展示も行います。また、浜松のお茶の試飲や伝統的な茶の手もみ体験も実施するなど、ご来訪いただいた方に満足いただけるよう、でき得る限りのおもてなしの予定をしているところでございます。

【大村愛知県知事】
ありがとうございました。追加のご発言等がありましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、アジア・アジアパラ競技大会につきましては、皆様のご支援・ご指導をいただきまして、オール東海一丸となって、両大会の成功に向けた一層の機運醸成を行うとともに、両大会を契機とした更なる地域活性化の取組を推進するということでとりまとめさせていただきたいと思います。あと1か月となりましたので、引き続き、何卒ご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。
ここで、アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成のため、PRの時間をいただきたいと存じます。まずは、両大会のPR映像をご用意しておりますのでご覧ください。1分ほどのものでございます。

－　PR映像の放映　－

【大村愛知県知事】
ありがとうございます。アジア・アジアパラ競技大会の開幕まで、残すところ約1か月となりました。先ほど、シティドレッシングについてご説明いたしましたが、まち全体をアジア・アジアパラ競技大会一色に染め上げ、開幕に向けて更なる盛り上げを図っております。
ぜひとも、各会場をお客様でいっぱいにしまして、アスリートに大歓声の会場で最高のパフォーマンスを発揮していただきたいと考えております。本日ご参加いただいております知事・市長の

皆様をはじめ、組織委員会や国、その他の自治体と一丸となって、オールジャパンで大会を盛り上げてまいりたいと存じます。

また、大会期間中は、ぜひ多くの皆様に競技会場に足をお運びいただき、両大会の熱気と迫力を肌で感じ、そして目の前で生まれる数々の感動の瞬間を味わっていただきたいと思います。両大会の成功に向けまして、皆様には、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日は、大会の PR のため、公式マスコットであるホノホン・ウズミンが来てくれております。皆様で記念撮影を行いたいと思いますので、恐れ入りますが、お席の前の中央付近にお集まりいただきたいと存じます。

－　記念撮影　－

（２）報告事項

【大村愛知県知事】

記念撮影にご参加いただきましてありがとうございました。

それでは、会議を再開いたします。続きまして、昨年度の会議の合意事項についての報告でございますが、資料を配付しておりますので、配付をもって報告にかえさせていただきたいと存じます。

（３）ＰＲ事項

【大村愛知県知事】

最後に、各県市のイベント等の PR でございます。事前に発言希望をいただいておりました、岐阜県と愛知県から発言させていただきます。まずは、岐阜県の江崎知事、お願いいたします。

【江崎岐阜県知事】

お手元の資料に冊子が入っております、「岐阜アウトドア Walker 」というものです。これは職員が頑張って作ってくれたものです。今、岐阜県はおかげさまで外国人観光客が 200 万人を超えました。今の観光は体験型が増えているということで、岐阜県では 42 市町村、全て観光地になりうるというのを合言葉に「アウトドアと言えば岐阜県」と、各地域の様々な体験型のアトラクションを一冊にまとめましたので、今日、ご紹介させていただきます。先だって、富山空港の名称が「富山高山すし空港」になりました。外国の方向けに当初 40、今 60 のプログラムを作ったのですけれども、モデルコースをストーリーの形で、観光地を提案するということをしております。おかげさまで、非常に好評なものですから、観光要素としては、こういうのがたくさんあります。特に海外の方、武道ツーリズムということで、刀鍛冶を見て、茶の湯、座禅をやって、甲冑体験をして、道場に来た後に、三重県の忍者村に行かれるというのが、非常に効果があるというのを実感しました。

したがいまして、地域に眠っている、知る人ぞ知るというのものを表に出すということ、それをプログラムにしていくことによって、海外だけではなくて、まず日本人の方々に楽しんでいた

だき、そして海外の方にも評価していただくことによって、日本の真ん中にあるこの地域に人や物が集まる、そして豊かになっていく、そしてふるさとに誇りを持っていただくと、そんなことをコンセプトにこうした冊子をとりまとめました。皆さん自身もぜひ、ご体験いただければと思っておりますし、また近隣県市とともに滞在型の、今日はジブリパークを拝見させていただきましたけれども、そういったところから更にもう一歩足を延ばしてこういったことを体験しようということで、参考にしていただければということで、ご紹介させていただきました。テーマは「楽しすぎるぞ岐阜！」。ちなみにこの裏の写真には職員を採用しています。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。

それでは、私からも2点、簡潔に申し上げます。

1つはラーケーションです。愛知県では、家族の休みに合わせて、子どもたちが校外で体験や探究の学び・活動を行う「ラーケーションの日」に取り組んでおり、年に3日間取得できます。今年度は、これまでの年3日間の取得に加え、「アジア・アジアパラ観戦特別ラーケーション」として2日間の取得を可能とし、子どもたちが家族と一緒に競技会場に足を運び、本物の感動を味わっていただけるようにしているところでございます。私どもは、2023年9月から「ラーケーションの日」というのを始めまして、今年度で4年目となっております。全国的にも広がってきておりまして、2026年度は8県、29市町村で、浜松市さんも今年度から取組を始められているということでございますので、ぜひ制度の導入をご検討いただけたら有難いと思っております。よろしくお願いいたします。

2つ目は、2027年5月2日から5日までの4日間、第60回アジア開発銀行(ADB)年次総会が愛知・名古屋で開催されます。国内開催は1966年の創立総会以降6回目、愛知・名古屋では初開催となります。ここのところ、10年に1回日本で開催しておりまして、これまで、東京、大阪、福岡、京都、横浜とやってきて、愛知・名古屋ということになります。ADB年次総会は、69の加盟国・地域の財務大臣や中央銀行総裁をはじめ、3,000～5,000人程度が一堂に会する大変大きな国際会議でありまして、世界的にも非常に注目度が高い会議でございます。今年9月・10月のアジア・アジアパラ競技大会から、来年5月のADB年次総会へつなげてまいりまして、アジアや世界の交流拠点としての愛知・名古屋の機能を更に高めていきたいと考えております。ADB年次総会に多くの関係者が来られると思いますが、岐阜県、三重県、浜松市などを周遊していただければ有難いと思っておりますので、何卒、よろしくお願いいたします。

さらにご発言があればお願いいたします。それでは、一見知事、お願いいたします。

【一見三重県知事】

ありがとうございます。三重県からもご紹介させていただきたいと思います。PR事項一覧表の13番目、三重県立美術館の企画展「アルベール・マルケ展」のパンフレットが入っているかと思います。損保ジャパンさん等の協力を得まして、フランスの印象派の後になりますが、野獣派、フォーヴィスムで有名ではあるんですが、フォーヴィスムらしい絵画というよりは風景、やや印象派に似た感じで描いておりますが、アルベール・マルケ氏生誕150周年を記念した展覧会を8月8日から9月13日まで開催しております。愛知県、それから大阪府からも三重県立美術館にお

越しいただいているというものでございます。非常に好評を得ておりまして、是非お越しいただければと思います。

さらに、この後、9月26日から12月13日まで、同じく三重県立美術館で、イギリスの陶芸家、非常に有名なルーシー・リーさんの展覧会を開催する予定です。現在は、東京都庭園美術館で開催されておりまして、その次、三重県にまいりまして、12月26日から、大阪府のあべのハルカス美術館で開催という、東京都、三重県、大阪府で開催される美術展です。非常に関心が高くて、問い合わせも結構来ているところでございます。この展覧会にもぜひお越しいただけばと思います。

【大村愛知県知事】

ありがとうございました。他にご発言はありますでしょうか。それでは、各県市のPRの資料はお手元にお配りしておりますので、また、ご覧いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和8年度東海三県二市知事市長会議を終了させていただきます。本日は、皆様のご協力をいただきまして、無事に座長を務めることができました。議事も無事終了いたしました。心から感謝申し上げます。

また、皆様の机上にアジア・アジアパラ競技大会のPRグッズをご用意しておりますので、大会のPRにご活用いただけたら有難いと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、以上とさせていただきます。